

# SICE システム・情報部門 社会システム部会研究会サンプル原稿

○システム太郎 情報花子 (××大学)

## Sample Manuscript for SICE Symposium of Social Systems Section

\*H. Shisutemu and K. Joho (University of XX)

**概要**— このドキュメントは原稿投稿方法や原稿の形式といった情報を記載しています。PDF 形式の原稿のみ受け付けます。PDF の原稿は EasyChair からアップロードしていただきます。このドキュメントは原稿のテンプレートファイルですが、それ以外のワードプロセッサをご使用の方は、原稿の体裁がなるべくサンプルと近くなるよう原稿を作成ください。

**キーワード:** 電子投稿, 原稿の形式

## 1 原稿の投稿方法

計測自動制御学会 システム・情報部門 社会システム部会研究会では、原稿を PDF でご用意いただき、EasyChair からアップロードしていただきます。使用言語は日本語または英語です。

## 2 テンプレートファイルのダウンロード

社会システム部会<sup>1)</sup>からテンプレートファイルをダウンロードします。pLaTeX を使用される場合は、SICE-SOCSYS.sty と sample.tex の二つのファイルをダウンロードしてください。SICE-SOCSYS.sty と sample.tex は EUC 版, SJIS 版, UTF-8 版の 3 種類を用意しましたので、適切なファイルを選択してください。Microsoft Word (以下 MS-Word と略す) を使用される場合は、template.docx をダウンロードし、原稿を作成してください。それ以外のワードプロセッサをご使用の方は、template.pdf をダウンロードし、原稿の体裁がなるべくサンプルと近くなるよう作成ください。

## 3 原稿の体裁

研究発表の場合、原稿は 4 ページから 8 ページでご作成ください。なお、査読結果を踏まえて加筆 (ページ数の超過) は可能です。ショート発表の場合、原稿は 1 ページでご作成ください。研究発表、ショート発表のいずれの場合も、アップロードするファイルサイズは 2MB 以内にして下さい。

### 3.1 全体の体裁

A4 用紙の (US Letter は不可)、縦 250 mm、横 170 mm の枠内に収まるようにしてください。余白は、上 20 mm、下 27 mm、左 20 mm、右 20 mm とします。活字の大きさは、日本語タイトル 16 ポイント、著者名、英文タイトルと著者名 12 ポイント、章タイトル 11 ポイント、節タイトル 10 ポイント、本文の活字 10 ポイントを目安としてください。原稿は、

- 和文題名
- 和文著者名 (登壇者に○印) と著者所属
- 英文題目
- 英文著者名 (登壇者に\*印) と英文著者所属
- 概要 (和文: 300 字程度 or 英文: 150 ワード程度)
- 本文, 参考文献

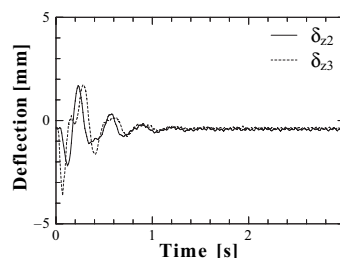


Fig. 1: 図の例.

の順に書いてください。概要までを 1 段組、本文・参考文献を 2 段組にしてください。また、句点と読点はそれぞれ“.”と“.”です。

### 3.2 図と表

図と表は、Fig. 1, Table 1 のように番号を振り (Fig. 1 参照)、図説、図中の説明文は和文・英文どちらでも構いません。本文で引用する場合も「Fig. 1 に示す」などのように Fig. と Table を使用してください。なお、図のキャプションは図の下に、表のキャプションは表の上に記載します。図や表中の文字は小さくなりすぎず、また、図の画質が落ちないように、注意してください。特に MS-Word など原稿を作成する際、JPEG 画像を貼り付けると、一度圧縮されている画像が再圧縮されるので画像が劣化するようです。

### 3.3 参考文献

文献の引用は本文中に<sup>2, 3)</sup>のように書き、本文の最後にまとめて記述します。次の様式を順守してください。なお、共著論文の場合は著者を苗字のみで、単著論文の場合は著者を苗字に加えて名前も記述してください。

(a) 雑誌論文の場合

番号) 著者: 論文題目, 雑誌名, 巻 (太字) -号, 始ページ/終ページ (年)

(b) 単行本の場合

番号) 著者: 書名, 始ページ/終ページ, 発行所 (発行年)

### 参考文献

- 1) <http://www.socsys.org/>
- 2) 計測, 制御: 計測自動制御学会論文集 LaTeX2e クラスファイル (sice.cls) について, 計測自動制御学会論文集, 48-9, 1/10 (2012)
- 3) 松野太郎: 第 7 回計測自動制御学会制御部門大会サンプル原稿, 第 7 回計測自動制御学会制御部門大会予稿集, 1/4 (2007)